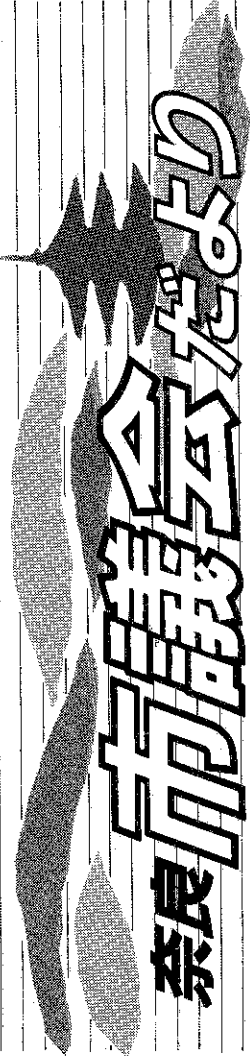


No.17

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
編集委員 会



〒630 奈良市二条大路南1-1-1
奈良市議会事務局
☎ (0742) 34-4734

また今議会では、六名の議員が質疑・一般質問を行い、(質問の要旨は二・三面に掲載、上程された二十二案件に

特に、シルクロード沿線諸国との身近な交流と友好は、今後の文化行政の中で反映させるとともに、博覧会を通して得た知識と体験を十分に生かしていきたいと述べました。

本会議の開会に当たって、西田市長は、去る十月二十三日、閉幕した「なら・シルクロード博」が、六百八十二万人の入場者を迎え、所期の目的を果たすことができ、誠に喜ばしい。この博覧会が大過なく好評裏に終了でき得たのもシルクロード沿線諸国の絶大な協力と市民各位のご理解のためのものである。また各方面に及ぼした経済的波及効果、人々の心に刻んだ文化意識の向上、その他の面でも大きな価値があったと信ずる。

ついで、すべて原案どおり承認、可決、同意しました。なおこのうち、人事案件としては、大川靖則前収入役の

十二月定例会

昭和六十三年十二月定例会は、十二月二日から十六日までの十日間の会期で開きました。

今議会では、昭和六十二年一般会計及び十二特別会計決算の認定や、昭和六十三年一般会計など三会計の補正予算、条例の一部改正、工事請負契約の締結、助役・収入役ほか委員の選任の同意など二十二件の市長提出案件について審議し、すべて原案どおり可決しました。

またこのほか議員提出の意見書一件についても可決しました。

62年度一般会計、特別会計決算認定

黒字1億8千8百万円

歳入歳出とも前年比増

62年度決算状況 (単位:千円)

区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	翌年度繰り越すべき財源
一般会計	64,850,759	61,740,232	3,110,527	2,537,369	573,158
特別会計	32,209,197	33,541,262	△1,332,065	△1,348,695	16,630
合計	97,059,956	95,281,493	1,778,462	1,188,674	589,788

助役選任、駿河武前水道事業管理者の収入役選任、中野重幸氏の監査委員の再任、駒谷



元気に乾布摩擦擦に励む保育園児

秋次助役の固定資産評価員の選任、小川邦子氏の人権擁護委員の候補者推薦がありました。

また、十四名の委員で構成する決算特別委員会を設置して審査を付託した昭和六十二年奈良市歳入歳出決算の概況は表のとおりで、昭和六十二年の一般会計及び十二特別会計の総計決算額は歳入九百七十億五千九百九十五万六千円、歳出九百五十二億八千四百九十九万三千円、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は、十七億七千八百四十六万二千円となり、さらに形式収支に含まれている繰越事業に伴う翌年度

へ繰り越すべき財源五億八千九百七十八万八千円を控除した実質収支は、十一億八千八百六十七万四千円の黒字となりました。

二十五億三千七百三十六万九千円のうち、十三億円は財政調整基金に繰り入れされています。(決算特別委員会の審査概要は四面に掲載)

JR線高架促進へ動く

浅川県議会議長に協力要請

十二月十三日、JR連続立体事業促進代表者会(十五人)のうち九人の議員が奈良県議会に浅川清議長を訪れ、JR関西線、桜井線の連続立体事業(高架)の促進について、県議会の協力を要請しました。

奈良市議会では、JR奈良駅周辺の再開発事業、シルクロード・タウン21の建設にはJR線が東西に街が分断されている現状を解消することが是非とも必要であるとの判断から、十二月六日に超党派の議員でJR連続立体事業促進代表者会を組織しました。代表者会は、都市基盤整備特別委員会が審査を目的としているのとは異なり、国、県等に政治的な働きかけをしていく目的で設置されたものです。

この日の会談で浅川清県議会議長は、「シルクロード・タウン21の建設にJRの連続立体化は不可欠のもの、県議会も全面的な協力を惜しまない。県議会、市議会のチームワークを保ち、再開発事業が動き出した今、連続立体の計画化を早急にやりたい」と心強い協力を約束されました。連続立体化事業は、県が主体となって施行されるものであるが、市議会としては、関西線は一条通り踏切の北側地点から八条町の踏切地点ま

で、また桜井線はJR京奈駅南側地点までの高架化が必要と考えています。

JR連続立体事業促進代表者会

- 代表 岡本栄一議長
- 世話役 廣岡宇三郎副議長
- 中西義次都市基盤整備特別委員会委員長、榎杉和彦都市基盤整備特別委員会副委員長、浅川清(交政会)、橋本和信(政友会)、真鍋四郎(公明党)、田中幸夫(共産党)
- メンバー 中村誠一(交政会)、西村孝春(同)、扇田善次(同)、尾谷進(政友会)、岡本志郎(公明党)、大谷督(社会党)、中村重信(無所属)

意見書

政府等に提出した意見書一件の要旨は次のとおりです。
▼京奈和自動車道の整備促進に関する意見書

関西国際空港及び関西文化学術研究都市へのアクセス道路となり、国際文化観光都市である奈良市の経済発展にとって重要な役割を果たす京奈和自動車道の早期実現に向け、特段の配慮をされるよう強く要望する。

議会日誌

- ☆十月
 - 24日 議会だより編集委員会
- ☆十一月
 - 1日 企画建設委員会
 - 15日 議会だより第16号発行
 - 17日 議員研修会
 - 18日 都市基盤整備特別委員会
 - 22日 総務財政委員会
 - 24日 経済水道委員会
 - 幹事長会
 - 25日 内示会
 - 教育厚生委員会
 - 29日 議会運営委員会
 - 30日 企画建設委員会現地視察
- ☆十二月
 - 2日 十二月定例会開会
 - 6日 本会議(質疑・一般質問)
 - JR連続立体事業促進代表者会設立
 - 8日 本会議(質疑・一般質問)
 - 8日 決算特別委員会
 - 13日 JR連続立体事業促進代表者会、県議会議長に協力を要請
 - 14日 決算特別委員会
 - 16日 JR連続立体事業促進代表者会
 - 十二月定例会閉会

陳情

今定例会に提出された陳情書は次のとおりです。
▼春日野プール等の存続を求める陳情書

陳情者「春日野プールの存続を求める奈良市連絡会 谷サユリ氏外十四名

答 弁

予 算

国庫補助削減で減収 編成は基盤整備重点

問 地方自治体を取り巻く財政事情は厳しい。国は、来年度も国庫補助負担率の引き下げを継続しようとしている。その上消費税が導入されると、自治体の財政を一層圧迫するのでは必至だ。来年度予算編成方針はどうか。

答 国庫補助負担率の削減措置が六十四年度も続くこと、市では十六億円程度の減収になり、その分だけ財政負担を余儀なくされる中で、六十四年度の予算編成方針は、市制百周年への第一歩として国際文化観光都市の基盤整備を積極的に図ることを基本とし、重点施策は新しい発想を取り入れた公共施設には文化性を持たせるものとした。

予算に組み入れるか 多彩な文化性

問 市長は、シルク博に出席した沿線諸国との交流と友好を今後の文化行政の中で反映させたいと言ったが、どのように反映させるのか。

答 シルク博を契機に県では、奈良をシルクロード研究の拠点にしようとの考えが浮

本会議

新年度予算の編成方針問う 行政姿勢二つ問題に審議集中

十二月六、七、八日の本会議では六名の議員が質疑・一般質問を行いました。今定例会は、明年度の予算編成方針、J R奈良駅周辺の新都市拠点整備事業、シルクロード博を基盤とした文化行政のほか、市民生活に直結する環境、医療、道路の改善対策、教育、福祉、情報公開についての熱心な質問に対して市長ほか関係理事者から答弁がありました。以下はその要旨です

シルクロード博

原状復帰は可能か

飛火野の芝生

問 シルク博は市民や各団体の協力で目標を達成したが、原状復帰を約束した会場の問題が残った。県は春日野プールや春日野グラウンド、テニスコートを壊して芝生の広場にしようとしているが飛火野会場などの復元計画はどうなっているのか。

また、解体しているシルク博の施設や備品を要望のある

市内の学校や公園に無償で設置してやれないか。

答 飛火野の復元は、建物の解体撤去の後、市民の皆さんに約束したように原状復帰をし、以前の緑を取り戻すことにしたい。

問 この博覧会が地域的に相当な経済効果があったと報ぜられている。具体的に答えられたい。

答 具体的な数値は出てい

新都市問題

住民参加で環境調査 J R奈良駅周辺

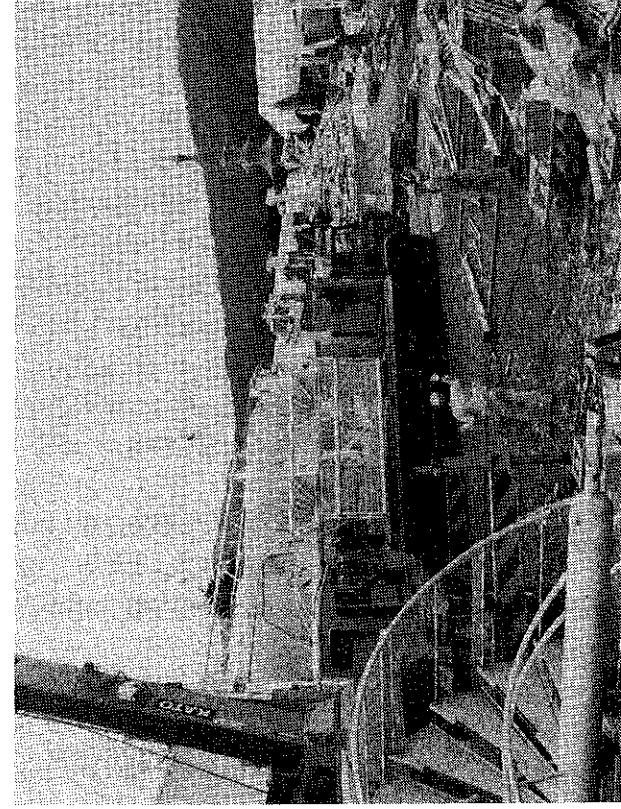
問 J R奈良駅周辺の新都市拠点整備事業による環境の影響調査を住民参加のもとで十分に調査しないと隣接地域とJ R奈良駅周辺地区に大きなスプロール化をもたらされるのではない

か。

答 J R奈良駅周辺の整備には三年間にわたり建設省や県・学識経験者と周辺地域を含めて道路、河川、下水などの研究をした。

住民参加も地元で推進協議会をつくり、その下部組織として企画、土地利用、土地所有者、借家人の各委員会をつくり、週ごとに五十数回、約二千二百人が市側の説明を受けている。

これからも、この推進協議会等で調整を図っていく考えである。



飛火野の建物撤去

行政姿勢

国際化時代の都市へ

問 ポストシルク博についての見解と、奈良中国文化村の今後の見通しはどうか。

答 シルク博の成功を、奈良市の二十一世紀への大きな飛躍台にしていきたい。その基盤づくりであるJ R奈良駅周辺の再開発を進めている。その中で国際的なコンベンションのできる施設も考えている。

環境問題

タテ割り行政の改善へ ごみ処理への不満高まる

問 産業廃棄物の不法投棄や一般廃棄物に対する市の関係部課の処理には、市民の間

から不満や苦情が高まっている。これは、対応業務が今のところ担当行政各課のはさまに落ち込んでいるからだ。関連する各課は、この現状をどのように認識して対応を考えているのか。

組織を再検討

清掃業務強化へ

答 経済の急テンポな発展によって環境が悪化した。これによる行政の対応の中では清掃が大きな問題であることは十分に認識している。

しかし、一つ一つの課では対応し切れないので、関係各課による連絡協議会もつくっているが、縦割り行政のため困難な面が多いので、生活環境の保全や公害防止について対応できるプロジェクトや組

織のあり方を検討したい。

産業廃棄物の所管は、法的には県であるが、迷惑を被るのは市民なので、市として積極的にいかかわっていくことにする。

残土処理条例については、他都市を調査、研究したい。

問 最近の総理府の調査によると、国民の二人に一人が豊かな緑を求めている。緑と自然を守る決意を聞きたい。

答 健康で安全で文化的なまちづくりをするために長期的な展望からの緑の整備と保全の施策を総合的に進めている。特に山間部での植林や市民に苗木を交付し、緑を増やすために努力している。

緑を保存する条例の制定については、現在既に古都保存法に基づく特別地区で千八百九ヘクタールを、また風致地区として四千七百二十七ヘクタールが指定されているので条例制定は考えていない。

なぜ遅れる

行政町名一元化

問 町名も一つの環境である。行政町名の一元化はなぜできないのか。

答 六十二年一月一日を目途に通称町名を廃止して行政町名に一元化する予定であったが、住民のコンセンサスが得られず実施に踏み切れないでいる。市民の理解を得ながら住居表示、町界町名の整理を行っている。なお、通称町名を行政町名に変更してはどうかということについても今後取り組んでまいりたい。

市民に豊かな情報を 市政への住民参加

問 市長の言う市政への住民参加とは、何よりも豊かな正しい情報が市民にもたらされなければならない。

答 法律で市民に公開してはならない資料とは、どういふものか、その基準はどこにあるのか。

また、市のどの審議会も市民の傍聴を認めていない。

その上、一人の委員が多数の審議会の委員を兼ねている。これでは市民の幅広い声が審議会に反映できない。広く委員を選挙して委任すべきではないか。

問 情報公開の基準はなく単に地方公務員法三十四条による守秘義務によっている。

本市の場合、現在の文書管理は、所管部局が縦割りになっているため、郵局を超えて共通利用が図られる一元的な情報管理システムを検討中である。

審議会の委員は、その目的と諮問事項に適した人を各界から集め、意見を反映させるものである。

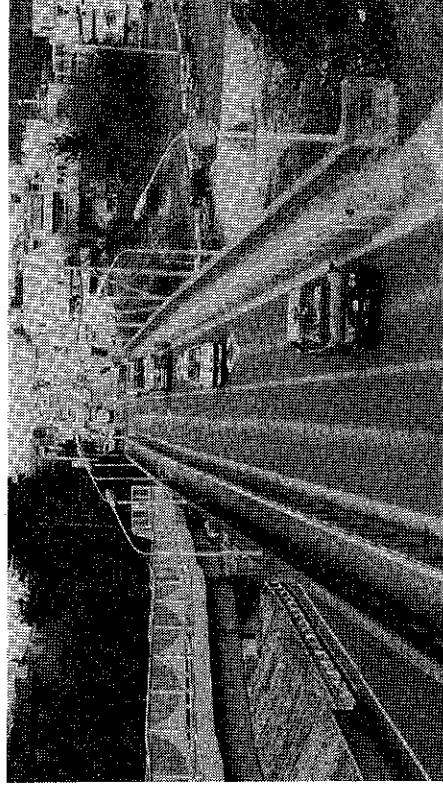
審議会が非公開なのは各委員の自由な発言を保障するため、公開、非公開は、各々

情報公開

質問と

問 登美ヶ丘線に架かる鶴舞橋の老朽化が心配されている。

**狭くなった鶴舞橋
車の増加で架け替え必要**



歩道の付け替えを検討中の鶴舞橋

道路

周辺住民やマイカー族から橋の振動が激しいとの声が高い。

その上、橋の車道の幅員が六メートル以下で交通量の増加や防

の審議会が、その主体性と目的によって決められるべきことである。

駐輪対策

**増える駅前の放置自転車
利用者のモラルに待つ**

問 近鉄平城駅、高の原駅とバスターミナル、西ノ京駅での放置自転車の現状を調査したところ、平城駅前で約二百台、高の原駅とバスターミナルでは約三百台、西ノ京駅でも約二百台の自転車と単車があふれていた。

条例で禁止区域としている

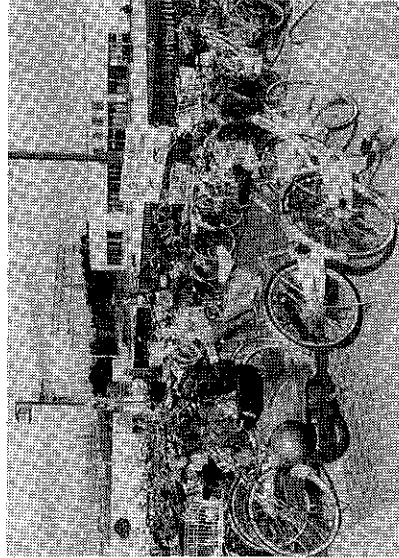
近鉄奈良など八つの駅前で六十二年度の放置自転車の撤去費は千三百万円かかり、そして、常時約三千台の自転車等があふれて市の撤去作戦と

イタチごっこになっている。

駐輪場の増設、条例改正などについて聞きたい。

答 放置自転車の移動には地元や各団体に協力をお願いしているが思うに任せない状態である。

結局は、乗る人のモラルの問題なので市民だよりやその他の機会に啓蒙していきたい。駐輪場を設



高の原駅前の放置自転車

保健衛生

住みやすさは医療

他市より少ない医院

問 新住民の千五百三十五人を対象に最近行った意識調査によると、市内の医療施設の配置が東部市街地に集中し、偏在が著しく、今後人口が増している西部や北部に重点的配置誘導を図る必要があるとなっている。診療所や医院の増設と適正配置について聞きたい。

また、奈良市の市民十人当たりのベッド数は十二床で、大津市の十五床や和歌山市の十七床に比べて少ないが、県の地域保健医療計画によると病院の新設は認められず、増床は既設の病院だけとなっているがこの点の見解はどう

災害からも、この際、架け替えるが必要と思うが見解はどうか。

歩道を外側に 架け替えは困難

問 鶴舞橋は、二、三年前に調査してもらったところ

耐久度は大丈夫である。

しかし、現状では、橋の中に歩道があるため幅員が狭くこのため歩道を外側に付けられないかを研究している。

今直ちに架け替えるのは難しいために、差し当たり交通量の増加に対処できる方策を考えた。

教育

一九九二年に着工予定 生涯学習の「科学館」

問 未来に開く教育のまちづくりとして子供たちには夢と希望を与える奈良にふさわしい科学館建設の今後のプロセスと完成の目標を聞きたい。

答 科学館は生涯学習時代に適応した施設にするため、現在、宇宙と生命をテーマにした基本構想の作成を進めている。

建設には巨額の資金と高度な技術や専門知識が必要であり相当な期間を要するが、今年度中に基本構想の作成を終わり、六十四年度から基本計

画の策定に取り組み、国際宇宙年の一九九二年に着工する状態に持っていきたい。

生活難の留学生援助

問 市内に住む留学生は、円高などで生活に困っている。これらの留学生に市として住宅やその他の面で援助してやれないか。

答 市内に居住する留学生の実態を調査し、援助する上で問題点の整理をした上で、県及び他都市の態様をみて検討してまいりたい。

か。

答 診療所の適正配置については、西部や北部に開所していただけるよう医師会や歯科医師会にお願いしている。

病院のベッド数は十分でないので、さらに増床あるいは新設されるよう努力したい。

虫歯予防の フッ素塗布

問 小学生や幼児を対象に行っている虫歯予防のフッ素塗布は厚生省の基本方針により、奈良市が行ってから二十年も続いている。

フッ素の効果を強調する条り、害になる作用についての配慮が、全くなされてない。市議会で問題提起をして以来、八年もたつのにそのままだ。

現在、この塗布には賛否両

論に分かれており、疑わしいことはやめるべきだ。

答 市では、厚生省の実施要項により昭和四十二年度から保護者の同意を得て市の歯科医師会に委託し、小学校の一年から四年までの児童と三歳児を対象に塗布をしている。

指摘された点については、国会でも取り上げられているので、その資料をもとにして専門機関の指導で市の学校保健会で研究し結論を出したい。

福祉

老人ホームに補助

問 今後の急速な高齢化対策の充実に向け、どのように取り組まれるのか。

市の高齢者人口は、全国平均の一一・一％に比べて九・四％と、やや低い。現在の人口増の停滞化によって高齢化が急速に進むため民間の福祉法人の老人ホームの新、増設等その施設面に積極的に財政面での援助を高めていく計画である。

さらに、高齢者の生きがい対策として西部に老人福祉センターの建設を計画している。

その上、今後は老人のニーズが高まってくるために、行政だけでは、対応しきれない時代になってくるので、市民参加によるボランティア事業の活発化を図っていく。

ちびっこ広場

問 市民へのアンケートで力を入れてほしい施設の中で子供の広場と公園がある。

今の子供は思う存分に心と体を躍動させて遊ぶ空間を失っている。これについてはどう対処するのか。

答 子供が健全な遊びのできる広場の確保は大事である。このため四十九年から、ちびっこ広場の設置要綱をつくり現在七十五カ所の設置をした。

しかし、これらは継続できる土地を借りて遊具を設置しているわけだが、昨今のようになり地価が上がってくると、そうした方法だけに頼っていることは難しい。

特に旧市街地では、そうした場所が少ないため、家か土地を売却して他に移る人があれば買収させてもらいたいので、そんな土地があれば教えてもらいたい。

決算特別委員会の審査経過

的措置を検討する。

問 開発やマンション建築等に係る紛争に対する民事不介入の考え方は。

答 法をクリアして行政が認めたものは、それ以後発生する問題は民事上の問題ととらまえ、原則的に行政は不介入である。

市民参加の制度

問 市長の政治姿勢である「市民参加」に対応する市の機構、制度はどうなっているか。また、市内の公的機関の所在が分かるようできない

昭和六十二年度一般会計及び十二の特別会計決算を審査する決算特別委員会は、延べ四日間慎重審査した結果、いずれも認定すべきものとなりました。

委員会審査の主な内容は次のとおりです。

違反建築に法的措置を

問 朱雀五丁目地内スーパーマーケットの違反建築にどう対処するのか。

答 建ぺい率容積率が超過しており、また住宅部分がないこと、隣接地からの壁面後退がなされていないこととの違反がある。違法状態をすみやかに取り除くことが行政の責務であるので、是正されないならば告発、行政代執行等法的措置を検討する。

下水道十カ年計画

65年度末に七〇%

問 下水道十カ年整備計画の実施状況及び合流区域の改良計画はどうなっているか。

答 昭和六十五年度末には普及率七〇％は達成できるものと確信している。合流区域の汚水対策についても昭和六十四年度から調査に入り、現在改良計画策定の作業を進めている。

大規模改修の計画

問 小・中学校舎の大規模改修等費が年々増加し、一校の改修に二年かかっている。今後の改修計画は。

答 改修の国庫補助基準または技術的な面ですべてが一〜二年以内に進めることができない。今後は改修整備の年次計画を立て、力を入れてまいりたい。

問 昭和六十年度から市職員による市政モニター制度を実施し、お互いに通報することで横の連携を密にしていきたい。公的機関の所在については、市民ハンドブックに地図の掲載を計画しているか。

東部山間の活性化

問 東部地区振興協議会の取り組み状況は。

答 近くまとまる調査項目で、全戸調査を行い具体的な方針を決めてまいりたい。

ファミリーパーク

問 森林ファミリーパーク建設計画の現状及び今後の対応は。

答 地元のコセンサスを得るのが大前提である。十一月二十九日、地元自治会の代表に説明会を開催させていただいた。

春日野プールは存続

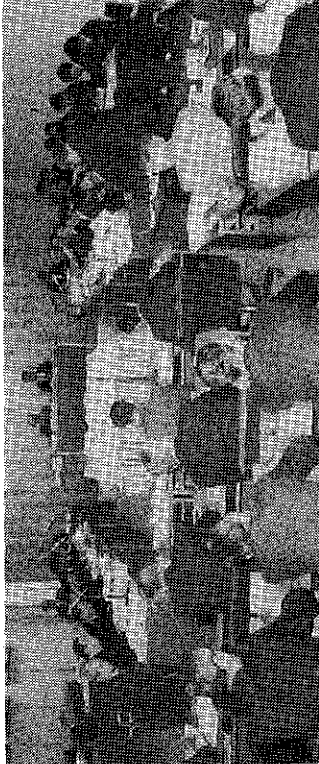
問 春日野プールは火災時の自然水利としてきわめて重要であると思うが、その存続について県へ申し入れを行う考えはないか。

答 消防の立場からは残せるものなら残していただきたい。また、旧市内にプールの新設は大変難しいので存続されるよう県に申し入れていく。

進捗状況は 富雄駅前再開発

問 近鉄富雄駅北地区市街地再開発事業の進捗、駅西側出入口の形態はどうなるのか。

答 六十二年度は、交通量調査、導入施設計画の検討、また関係住民への説明会を行ってきた。駅西側出入口は構内であり、事業区域に含まれていないが、今後駅前広場、既設物等との関係から検討してまいりたい。



基金は効率的運用で

問 資金の運用状況はどのようになっているか。

答 先物予約付外債定期預金等の効率的運用で、一億四千四百三十三万七千九百九十九円、財政調整基金についても自由金利商品で一億六千六百六十二万二千七百二十一円の利息を得た。

高齢化対策は

問 高齢化対策について、現在の対応と今後の取り組みについて述べられたい。

答 今後は疾病における生活の悩みを相談できるホーム・ドクター制度の導入や一般健康診査の充実が必要である。また疾病予防の拠点として医療検査センターの建設を計画している。就労対策については、シルバー人材センターの設立、高齢者職業相談室の設置により雇用の促進を図っている。

- 決算特別委員**
- 委員 長 矢 追 勇 夫
副委員 長 橋 本 和 信
峰 宏 明
松 田 未 作
岡 本 志 郎
中 村 重 信
横 田 利 孝
吉 田 文 彦
島 崎 光 治
樹 杉 和 彦
田 中 幸 夫
和 田 晴 夫
西 村 孝 春
浅 川 清 一

高濃度総窒素の除去

問 中ノ川ごみ投棄に関して高濃度の総窒素を浄化槽で取り除けないのか。また住民との協定書の締結はどうか。

答 処理施設には窒素を除去装置は設置されていない。現状について調査を実施し、地元と十分話し合いたい。

一般競争入札を

問 建設工事の入札制度の改善策はあるのか。

答 指名の範囲を広める観点から制限つき一般競争入札制度の導入について他都市の調査を行い研究する。また、指名数の増も検討している。

西部出張所拡充策

問 西部の出張所、公民館みそ会館は利用者が多く駐車場も一時飽和状態になる。着池を埋め立て、出張所を建設し、跡地に市民センターを建設する考えはないか。

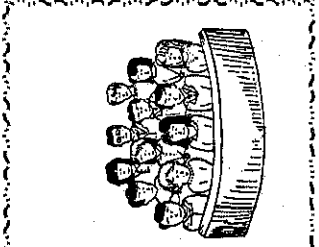
答 早く良い施設にした。場所は総合的に判断したい。

産廃投棄場を視察 企画建設委員会

「産業廃棄物の投棄阻止に関する請願書」を審査している企画建設委員会は、昨年十一月三十日、北橋尾町地内の投棄場建設地を視察しました。

この日は県が許可を与えるに際して意見書を提出した市から担当部長と課長が出席、また処理場設置業者と設計業者が同席し、各委員はそれぞれから説明を受けました。

邸宅と貴族の生活ぶりなどの講演に多数の議員、理事者は熱心に聴き入っていました。



長屋王時代の歴史 議員研修会開く

昭和六十三年第一回議員研修会を昨年十一月十七日、講師に奈良国立文化財研究所の田辺征夫先生を招き開催しました。

市役所西側の百貨店建設場所は、多重に築かれた木簡から長屋王の大邸宅跡であることが確認され、「長屋王大邸宅と貴族の生活」と題し、大

議会を傍聴して下さいます。市民のみならずの生活に直結した重要な問題を審議していただきます。一度本会議を傍聴してください。

本会議は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。傍聴に関する日程、手続きは議会事務局84-4734へお問い合わせください。

▼奈良市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について

印鑑登録証明書発行事務の電子計算化

事業用地の取得

。奈良市シルクロード博記念館展示品として綴(つづれ)の取得

。鴻ノ池球場夜間照明設備その他工事

▼市営住宅滞納家賃の支払請求に関する調停申立てについて

▼奈良市改良住宅条例の一部改正について

古市地区小集落改良住宅六戸の新設

▼財産の取得について

。都市計画街路掘削兼貫路

▼工事請負契約の締結について

。(仮称)東消防署佐保出張所新築その他工事

。奈良市中央体育館改修その他工事

▼市営住宅明渡請求に関する訴えの提起について

▼委託契約の締結について

。JR奈良駅周辺土地区画整理事業(管轄都市下水道改良工事)

その他 12月議会で

編集後記

◎曆の上では一月二十日大寒で二月四日は立春。大寒が過ぎ、立春を迎えようとしています。まだまだ寒い日が続きます。

一面には、寒い中、元気に乾布摩擦に励んでいる園児たちを掲載しました。保母さんの合図でみんな大きな声で「いち」「に」「さん」「しい」……

◎二面、三面及び四面の文中に「六十四年度」、「六十五年度」、「昭和六十四年度」、「昭和六十五年」と記載しておりますのは、すべて十二月定例会での質問及び答弁の表現のまま掲載しました。

